

静岡県の 学校図書館

第6次「学校図書館図書整備等 5か年計画」（文部科学省）

令和4年度から令和8年度を対象期間とする第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」が、文部科学省から発表されました。

この計画では、令和2年度に実施された「学校図書館の現状に関する調査」の結果を踏まえ、公立小中学校等における図書標準の達成を目指すと共に、刊行後時間の経過に伴い最新の情報を記載していない古い図書を更新するなど、児童生徒が利用しやすい、計画的な資料整備を推進することが求められています。また、学校図書館への新聞の複数紙配備、学校司書の配置拡充などを挙げ、より一層学校図書館の整備充実を図ることが示されています。

学校 図書館 情報①

学校図書館オリエンテーション

児童生徒が学校図書館の機能を知り、使いこなすようになるためには、オリエンテーションはとても重要です。「どんな内容を実施すれば良いかわからない」「他の学校ではどのようにオリエンテーションを実施しているか知りたい」という方に、参考になる資料を紹介します。

【図書・雑誌】

書名	出版者	出版年
『はじめよう学校図書館 11 心をつかむオリエンテーション』	全国学校図書館協議会	2014
雑誌『学校図書館 771号』特集・学校図書館オリエンテーション	全国学校図書館協議会	2015
学校司書・司書教諭・図書館担当者のための学校図書館スタートガイド サンカクくんと問題解決！	少年写真新聞社	2015
みんなで作ろう学校図書館	岩波書店	2012

令和4年2月発行

発行：静岡県総合教育センター

企画・ICT推進課生涯学習推進班

電話：0537-24-9715

メール：sogokyouiku-kikakuict@pref.shizuoka.lg.jp

策定の経緯や
内容の詳細は、
文部科学省
ホームページ
に掲載されて
います。

学校図書館に
関わる方は、
ぜひご覧ください。
URLは
下のとおりです。



第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」

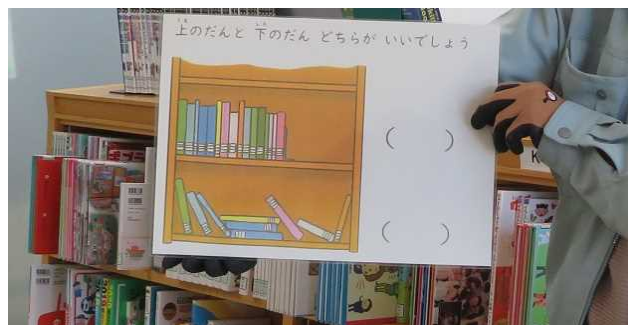
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/link/mext_01751.html

【インターネット情報】

『学校図書館サポートのページ オリエンテーション』（全国学校図書館協議会）
<https://www.j-sla.or.jp/sl-support/orientation/>
対象者(小学生・中学生・教職員)別に、オリエンテーション例が掲載されています。

『静岡県読書ガイドブック「本とともにだち」』（静岡県教育委員会社会教育課）
<http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-080/dokusho/pref/guidebook.html>

『静岡県読書ガイドブック「本とともにだち(小学生版)」』には、活用の手引があります。図書館の使い方や本の探し方などの指導方法が載っており、オリエンテーションで活用できます。



学校
図書館
情報②

連続講演「DX（デジタル
トランスフォーメーション）
時代の図書館と児童ヤング
アダルトサービス」
主催：国際子ども図書館

国際子ども図書館では、社会環境の変化に伴い、DXの需要性が高まる中、今後の児童ヤングアダルトサービスがどのように変化するのか、考えるヒントとなる講演会の配信を行っています。

このうち、特に学校図書館に関する講演は次のとおりです。その他の講演と併せてご覧ください。

講演：GIGA スクール時代に学校図書館は何か
できるか

講師：有山裕美子氏（軽井沢風越学園教諭）

講演：デジタル化で進める読書のバリアフリー
児童サービスの現場にできること

講師：野口武悟氏（専修大学文学部教授）



【視聴方法】

この講演は YouTube を利用したオンデマンド配信形式で、いつでも視聴できます。詳しくは、国際子ども図書館ホームページをご覧ください。次の二次元バーコードからもご覧いただけます。



【参加費】無料

【問い合わせ先】

国際子ども図書館 企画協力課 協力係

メールアドレス：kenshu@kodomo.go.jp

電話：03-3827-2053

URL：https://www.kodomo.go.jp/event/special/dxlecture.html

あすなろ
図書室
から

高等学校国語教科書掲載図書
展示について

あすなろ図書室では、現在、令和4年度から使用される高等学校国語教科書に掲載、または紹介されている図書の一部を展示しています。実際に手にとってご覧いただき、学校図書館への購入検討や、生徒たちへの読書案内などにお役立てください。



資料
案内

児童・生徒の学習に、多様な
情報メディアを活用しましょう。

学校図書館では、図書や雑誌などのほか、ネットワーク情報資源など、多様な情報メディアを活用し、児童・生徒の学習に役立てることが必要です。図書や雑誌と同じように、ネットワーク情報も、インターネット上にある多くの情報の中から、児童・生徒が利用しやすいものを提供するようにしましょう。

例として、環境学習に子どもたちが利用できるサイトをご紹介します。必要に応じてご覧ください。

【インターネット情報】

(1)「子ども環境省」<http://www.env.go.jp/kids/>
子ども向けに環境省の取り組みを紹介するサイトです。

(2-1)「小学生のための環境リサイクル学習ホームページ」((一社)産業環境管理協会)

<http://www.cjc.or.jp/j-school/>

(2-2)「中学生・高校生・市民のための環境リサイクル学習ホームページ」((一社)産業環境管理協会)

<http://www.cjc.or.jp/school/>

リサイクルについてわかりやすく説明しているサイトです。小学生向け、中高生向けのサイトがあります。